

百万円と苦虫女

百万円貯まったら、この家を出て行きます。

蒼井優

森山未来 ビエール瀧

竹財輝之助 齋藤隆成

笹野高史 嶋田久作 モロ師岡

石田太郎 キムラ緑子 矢島健一

斎藤歩 堀部圭亮 平岩紙

江口のりこ 悠城早矢 弓削智久

佐々木すみ江

脚本・監督：タナダユキ

主題歌：「やわらかくて きもちいい風」
原田郁子 (コロムビアミュージックエンタテインメント)

撮影：安田圭 照明：石田健司 録音：白取真
美術：古積弘二 編集：宮島竜治/菊井貴那
スタイリスト：申谷弘美 ヘアメイク：竹下フミ
スクリーンライター：沖弘美
助監督：堀崎 進 製作担当：岡部 幸
音楽プロデューサー：緑川 竜
音楽：櫻井映子/平野 航
ラインプロデューサー：森井 舞
アシリエイトプロデューサー：中村 聡

企画・プロデュース・キャスティング：前田浩子
プロデューサー：木村久美/田中正
企画：アルケミー・プロダクションズ
制作プロダクション：日活撮影所
製作：日活/ボニーキャニオン/イーターカンパニー
WOWOW/電通/幻冬舎/エキスプレス
配給：日活 支援：楽文化庁
©2008「百万円と苦虫女」製作委員会
www.nigamushi.com

BOYEN GIRL



1 DUSTBINS



子は短大を卒業して就職もできずに、しかたなくアルバイト生活を送っているどこにでもいる女の子。どうにかしてこの生活を変えようと考えている中、ひょんな事件に巻き込まれてしまう。

「百万円貯まったら、この家を出て行きます！」



3 荷物運び



4 恋愛

と家族に宣言し、百万円を貯めるたびに、次から次へと引越しをして、1人で生きて行く決意をする。

- 1 いろんなアルバイトをし、
- 2 海の家で短期アルバイト、
- 3 桃園で桃をもぎり、
- 4 ホームセンターで働き、
- 5 ちょっぴり恋をする。

行く先々の街で様々な人たと出会い、笑ったり、怒ったり、素敵な恋をしながら、自分だけの生き方を見つけゆく女の子の旅物語。

蒼井優、待望の主演作はちょっとビターで憎めない女の子。

6 covers



7 ラガール』『ハチミツとクローバー』で日本アカデミー最優秀助演女優賞を受賞するなど、今、日本でもっとも輝いている女優、蒼井優。待望の主演作で演じる鈴子は、普段の清楚で爽やかな蒼井優のイメージとは反対な、家族からも友達からも少し距離を置いている不器用だけどやさしくて憎めない女の子。このキャラクターは、『さくらん』(脚本)のタナダ監督が蒼井優をイメージして生み出した。あるがままの自分を受け入れ、未来へと進んでいく等身大の女の子を楽しそうに演じる蒼井優から目が離せない。相手役には、若手実力派の森山未來『世界の中心で愛を叫ぶ』のほか、ピエール瀧、竹財輝之助『未来予想図』そして笹野高史『武士の一分』とバラエティに富んだ共演者が一同に揃った。

本作の脚本と監督を手がけるタナダユキは、『月とチェリー』『赤い文化住宅の初子』など独特の世界観を築き、『さくらん』の脚本で女性を多面的に描きだし注目された、次世代を代表する女性監督。等身大の女の子の姿を繊細でユーモラスに描きだし、タナダの代表作といえる本作が誕生した。さらに、クラムボンの原田郁子がソロとしてはじめて映画のために主題歌を書き下ろし、話題となっている。



百万円と苦虫女

2008年/日本/121分/カラー/ビスタサイズ/ドルビーSRD、DTSデジタル 製作：日活、ゴニョキャニオン、イトーカンパニー、WOWOW、電通、幻冬舎、エキスプレス 配給：日活 ©2008「百万円と苦虫女」製作委員会

2008年、夏、ロードショー

特別鑑賞券発売中 ¥1500(税込) 当日一般 ¥1800(税込)の処

劇場窓口でお買い求めいただいた方には、先着限定でオリジナル「桃娘」ピンバッチプレゼント!



渋谷道玄坂サ・プライム6F/全席指定(初回を除く)

シネセゾン渋谷

03-3770-1721 www.cinemabox.com

池袋駅西口・東武隣接・メトロポリタンプラザ8F

シネ・リーブル池袋

03-3590-2126 www.cinelibre.jp

